

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																										
北海道エコ・動物自然専門学校		平成10年4月1日	佐藤 俊		〒061-1373 恵庭市恵み野西5丁目10-4 (電話) 0123-36-2311																										
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																										
学校法人産業技術学園		昭和63年1月5日	宮川 藤一郎		〒061-1396 恵庭市恵み野北2丁目12-1 (電話) 0123-36-8119																										
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																									
商業実務	商業実務専門課程	ペット学科			平成6年文部科学大臣告示84号																										
学科の目的	トリミング、ヘルスケア、犬のしつけおよび訓練などの専門知識や高度な技術を身につけ、業界のニーズに対応し、現場で即戦力となる動物と人とのコミュニケーション能力を修得し、ビジネス感覚を備えつつ、業界の社会的地位を高めることができる人材を養成することが目的です																														
認定年月日	平成10年4月1日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	1965時間	330時間	690時間	945時間																										
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
80人	44人	0人	2人	13人	15人																										
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験・平常点評価 49点以下不合格、50点以上合格 A:80点以上、B:60点台、C:50点台、D:40点台、E:39点以下																										
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月から9月までの間で6週間以内 ■冬季:12月から1月までの間で6週間以内 ■学年末:3月から4月までの間で5週間以内			卒業・進級条件	選択必修科目・自由選択科目のどれかを必ず選択し、履修することが、進級・卒業要件となり、進級・卒業認定は判定会議にて学校長が行う。																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 1欠席ごとに電話連絡2欠席で保護者連絡			課外活動	■課外活動の種類 国内研修・学園祭 など																										
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) ペットショップ、動物病院、犬訓練施設 ■就職指導内容 履歴書指導、身だしなみ、面接指導等			主な学修成果(資格・検定等)※3	■サークル活動: ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)																										
	■卒業者数 20 人 ■就職希望者数 16 人 ■就職者数 16 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 84.2 % ■その他 ・進学者数: 0人				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛玩動物飼養管理</td> <td>③</td> <td>20人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>損害保険募集人一般</td> <td>③</td> <td>15人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	愛玩動物飼養管理	③	20人	19人	損害保険募集人一般	③	15人	15人												
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																												
愛玩動物飼養管理	③	20人	19人																												
損害保険募集人一般	③	15人	15人																												
中途退学の現状	■中途退学者 名 平成29年4月1日時点において、在学者 43名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者 43名(平成30年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 1欠席ごとに電話連絡、面談の実施、保護者連絡、カウンセリング長期休み前後に面談			■中退率 %																											
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 給付金利用者: 0名 実績なし																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																														
当該学科のホームページURL	https://www.heco.ac.jp/department/trimmer/																														

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業・業界の求める知識・技術が教育課程に反映されるように業界の動向に関して情報交換を行い、教育課程の改善および改定を定期的実施することを目的とする。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、教育課程の編成において企業・業界団体等の意見を活かし、必要となる最新の知識、技術を反映するための連携体制等を行う機関として活動し、職業教育の水準の維持向上を図り、実践的な職業教育を行うことを目的とする。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
金澤 縷美子	ビーポップ / JPHHA協会 代表 / 理事	平成27年9月1日～平成29年8月31日(2年)	①
小野寺 里絵	トレーニングハウス DOGTALK 所長	平成27年9月1日～平成29年8月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間開催数:2回 開催時期:7月及び2月

(開催日時)

平成29年度 第1回 平成30年3月27日 10:00～12:00 エコ図書室

平成30年度 第1回 平成30年9月12日 13:30～15:30 エコ図書室

平成30年度 第2回 平成31年2月開催予定

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員より

担当犬への思い入れが強すぎ、視野が狭くなるのではないかと。多種多様な犬との関わりが必要ではなか。学生が達成間をもてる工夫。

改善項目

担当犬を3～4ヶ月で入れ替え。実習担当講師による細かい仕上げをやめる

改善項目の実施

担当犬の入れ替えに関しては次年度実施に向け仕組みづくりの構築。実習中早い段階での目安の挟み入れを実施。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で学習した知識・技術・態度を統合し、対象に応じた看護を実践出来るようになるための基礎能力を養うことを目的とし、主に臨地実習をととして企業と連携して学生の教育にあたる。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

実習演習では基本的な接客力・コミュニケーション力を養うとともに専門の知識技術を身に着けることを目的とする。具体的にはトリミング技術(基本的な技術およびそのシーンに応じたカット技術や、流行を取り入れた応用のカット技術)犬のしつけや訓練の仕方などの犬に関する知識・技能の習得と、訓練競技会などでの運営管理や人間関係を学ぶ。ドッグスクールでの犬との接し方はもちろん、業界関係者やお客さんとも接する機会を設け、その雰囲気や世界観を肌で感じとる。

各業界企業とは、直接個別の評価をもとに問題の精査を検討、その後学生へ指導する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
業界研修	連携した企業・施設で研修を行い日々変化する業界の技術や知識指導を受け学ぶ	ペットハウス テン・テン ペットサロン&ホテル ピピ ドッグファームシヤなど

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
在籍している学生たちも多様化しており一人一人を入学から卒業・就職まで導くために、職員それぞれがカウンセリングマインドを持つことが必要とされている。そのために指導と教授力の向上カウンセリング力の向上を目的とする。また、専門技術知識を伝えるに当たり常に業界の新しい情報を入手し、知識技術の向上を図る必要があり、常に研鑽を続けることを目的とする

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

6月8日 スキンセミナー 参加者担当者1名
7月18日 訓練士研修会(競技会の採点に関して) 参加者 担当者1名
8月3日 デザインカット&アレンジスタイルセミナー 参加者 担当者1名

② 指導力の修得・向上のための研修等

7月21日 文部科学大臣認定職業実践専門課程に係る研修「求められる教師の仕事」参加者1名

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

10月3日 ベイジング&トリミングセミナー 参加予定 担当者1名

② 指導力の修得・向上のための研修等

学園内の担任研修・国家試験対策研修への参加 文部科学大臣認定職業実践専門課程に係る研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

日々の学校運営については学内の学校長、副校長、教務部長、部門長の会議である「運営会議(定例会毎月2回)にて運営の見直し並びに次年度事業計画修正への検討を行っている。また、学校関係者評価委員会で得られた外部評価における意見や提案はその内容を検討し12月には改善計画を含めた事業計画を策定している。自己点検自己評価については、年度修了後に「計画」「実践」「評価」の一連の評価を行うために、学校評価ガイドラインに設定した目標や、具体的な計画の実践状況について学校評価委員会を開催し自己評価点検を実施し学校関係者評価との連動により学校運営に活用している。一方教育活動については教務部長ならびに学科長で構成される学内組織である「教育改革委員会(定例会月1回開催)」にて問題の検討や計画の修正等を検討し、年2回の教育課程編成委員会への報告により毎年次年度カリキュラムへ反映し日々の授業運営の改善に取り組んでいる。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目的・育成人材像は定められているか ・学校の特色は何か ・学校の将来構想を抱いているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方針は定められているか 2-5事業計画は定められているか ・運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか ・人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか ・意思決定システムは確立されているか ・情報システム化などによる業務の効率化が図られているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・各学科の教育目標、育成人材像はその学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか ・修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか ・カリキュラムは体系的に編成されているか ・学科の各科目はカリキュラムの中で適正な位置づけをされているか ・キャリア教育の視点にたったカリキュラムや教育方法などが実施されているか ・授業評価の実施・評価体制はあるか ・育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・教員の専門性を向上させる研修を行っているか ・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか ・資格取得の指導体制はあるか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図れているか ・資格取得率の向上が図れているか ・退学率の低減が図られているか ・卒業生・在校生のの社会的な活躍及び評価を把握しているか
(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就職に関する体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか ・保護者と適切に連携しているか ・卒業生への支援体制はあるか
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・学外実習、インターンシップ、海外研修などについて十分な教育体制を整備しているか ・防災に対する体制は整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は適正に行われているか ・学生募集において教育成果は正確に伝えられているか ・入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか ・学納金は妥当なものとなっているか

(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報公開の体制整備は出来ているか
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関しその保護のための対策が取られているか ・自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか ・自己点検自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

自己点検自己評価については、「計画」「実践」「評価」の一連のサイクルを行うために、学校評価ガイドラインに設定した目標や、具体的な計画の実践状況について学校評価委員会を開催し懇談を通じての意見や要望を聴取する。聴取した内容は、学校運営に関する事項は、学内の学校長、副校長、教務部長、部署長の会議である「運営会議(定例会毎週1回)」にて運営の見直し並びに次年度事業計画修正への検討を行い12月には改善計画を含めた事業計画を策定する。一方教育活動については教員及び学科長で構成される学内組織である「教育改革委員会(定例会月1回開催)」にて検討し、1月には次年度カリキュラムの改定にむけての検討ならびに日々の授業運営の改善にを実施している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
佐藤 翔太	北海道造園コンサルタント 副館長	平成29年9月1日～平成31年8月30日(2年)	卒業生代表
若山 英史	学生の保護者	平成30年7月1日～平成31年8月30日(1年)	保護者代表
高橋 守	北海道恵庭北高等学校 進路指導部長	平成30年7月1日～平成31年8月30日(1年)	高等学校関係者
山田 裕一郎	山田アートフィルム	平成29年9月1日～平成31年8月30日(2年)	地域関係者
近藤 幸司	よつば動物病院 医院長	平成29年9月1日～平成31年8月30日(2年)	業界関係者
吉田 俊介	株式会社ノーザンホースパーク 取締役	平成29年7月1日～平成31年8月30日(2年2ヶ月)	業界関係者
樋原 均	株式会社ペットハウステン・テン 代表取締役	平成29年7月1日～平成31年8月30日(2年2ヶ月)	業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 平成29年7月

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

<https://www.heco.ac.jp/disclose-information/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者に対しては、業界視点を越えた教育施設としての社会活動からの評価視点を得ることが出来るため、これらを学校教育の客観的な評価、運営での業界目線、地域目線、保護者目線、卒業生目線、そして行政目線から第三者の外部評価と意見をいただく委員会として位置づけをしている。したがって、その情報提供は、学科ごとに設けた教育課程編成委員からの教育評価や産学連携、業界連携についての報告を密に行うとともに、入学式、実習報告会、懇談会、研究発表会、学園祭、卒業式等の行事にも委員の出席をいただき、学園の生の活動の理解を得る機会を持つように心がけとともに、ホームページを通じて積極的に学校情報を発信し、学校の運営状況について知っていただく機会を持つ努力と教育施設としての水準の向上に努めている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	(1) 学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	(2) 各学科等の教育
(3) 教職員	(3) 教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	(4) キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	(5) 様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	(6) 学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	(7) 学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	(8) 学校の財務
(9) 学校評価	(9) 学校評価
(10) 国際連携の状況	(10) 国際連携の状況
(11) その他	(11) その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

情報提供はHPにて公開をしている

自己点検自己評価による
新しいのをアップしたアドレス

別紙様式4
新しいのをアップしたアドレス

法人決算書及び監査報告書
https://www.heco.ac.jp/resources/pdf/info_01.pdf?v2
https://www.heco.ac.jp/resources/pdf/info_02.pdf?v2

学校関係者評価委員会報告書
新しいのをアップしたアドレス

学校関係者評価結果及び改善方策
新しいのをアップしたアドレス

授業科目等の概要

(医療専門課程 看護学科)			平成29年度												
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			講読演習Ⅰ	社会の仕組みやマナーなど就職する上での心構えや動物業界の現状などを学びます。	1 通	60	2		○		○		○		
○			講読演習Ⅱ	業界研修・就職活動にむけ書類の作成や業界情報の取得をします。	2 前	30	1		○		○		○		
○			マナー講座	社会人として必要な、挨拶、対人スキル、電話対応など一般的な常識を学びます。	1 後	30	2	○			○			○	
○			犬学	犬の基本的な行動に対して学びます	1 通	60	4	○			○			○	
○			動物行動学	犬の行動学や、問題行動、その対応について学びます。	2 前	30	2				○			○	
○			コミュニケーションワーク	グループワークを中心にチームでの業務遂行力、リーダーシップとフォロワーシップを習得します。	1 前	30	1		○		○	○	○		
○			飼養管理士講座	動物全般の飼育管理や法律等を学びます。	1 通	60	4	○			○			○	
○			基礎看護Ⅰ	基本的な動物医療や応急処置など健康管理の基礎を学びます。	1 後	30	2	○			○			○	
○			基礎看護Ⅱ	動物の疾病や公衆衛生について学びます。	2 前	30	2	○			○			○	
○			解剖生理	動物を扱う上で基本となる動物の体のしくみを基礎から学びます	1 前	30	2	○			○			○	
○			業界研修	関連した企業・施設において研修を行い職業意識及び専門的な職業研修を行います。	2 前	90	2			○		○			○

○	スタンダード美容理論Ⅰ	犬の歴史・犬種概要・犬種ごとの特徴・カット理論をウィッグを用いて実践的に学びます。	1通	60	4	○			○									
○	スタンダード美容理論Ⅱ	犬種ごとの特徴やカット理論について学びます。	2前	30	2	○			○									
○	トリミング実習Ⅰ	道具の扱い方、犬の扱い方、シャンプー方法、カットの基礎など基本的なトリミングの技術を学びます。	1前	270	6				○	○								○
○	トリミング実習Ⅱ	トリミングの基本的技術に加え、時間や正確さを意識した技術の向上や接客方法を学びます。	1後	270	6				○	○								○
○	トリミング実習Ⅲ	接客方法の応用、犬種別の欠点カバーや美的強調など、トリミングを実践的に学びます。	2前	315	7				○	○								○
○	犬のしつけ	犬の訓練実技、飼主への説明法、飼主の身になった指導法などを学びます。	1後	30	2	○				○								○
○	ドッググッズプロデュース	犬の洋服やアクセサリなどを作製します	2前	60	2				○		○							○
○	業界実務演習	トリミング技術・接客・消毒・清掃・動物看護などを実践的に学びます	2後	390	13				○		○							○
合計			11～19 科目			1965時間以上 (66単位以上)												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	30週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。